

令和2年度JA三次 自己改革への取り組み

JA三次では、①農業者の所得増大と農業生産の拡大、②地域の活性化、③健全な経営基盤の確立を基本に、第7次中期計画及び第8次地域営農振興計画（令和元年度～3年度）の中で具体化を図り、自己改革の取り組みを進めました。

令和2年度の主な取り組みとして、米の全量買取と契約栽培の拡充、産直事業の再構築、JAアグリ三次における継続的な担い手の育成、スマート農業の普及支援と鳥獣被害防止対策の強化等に取り組みました。

また、支店協同活動の継続的実践と総合事業を通じた組合員・利用者のくらしを支える事業を展開するとともに、役職員の意識改革・行動改革に取り組みました。

■ 農業者の所得増大と農業生産の拡大（未来へつなぐ農業づくり）

主な取り組み実施内容

(1) 生産力・販売力の強化

【産地づくりへの挑戦】

●経営規模・経営環境に応じた作物の導入・生産拡大

- ・ハウス施設の導入拡大（R2 8棟）
- ・経営規模、経営環境に応じた振興作物の拡大（新植・増反 24.7ha）
- ・産直の生産基盤の拡大（R2 新規出荷者 37名／とれたて元気市出荷会員 573名、産直出荷会員 861名、産直冬季特別出荷助成 310件）
- ・省力化技術の導入・普及（園芸用貸出機械の利用 115件）
- ・JAアグリ三次における1,000万円モデル類型の確立（R2 売上金額 1,055万円、計画対比 105.3%）

●「三次きんさい米」ブランド戦略の再構築

- ・全量買取（酒米を除く）の実施
- ・結びつきのある米づくり（R2 販売実績 59,439袋）
- ・多収穫米品種試験栽培の実施（R1 5品種、6.8ha⇒R2 7品種、13.1ha）

【多様な販売方式の展開】

●産直事業の再構築

- ・インショップ店舗の拡大（R1 25店舗⇒R2 26店舗）
- ・全農とれたて元気市Aコープファーマーズみやうち店に出荷開始

●多様な契約方式による生産・販売事業モデルの確立と実需者への直接販売・買取販売拡大

- ・米（あきだわら）の契約栽培への取り組み（R2 23経営体、面積 47.3ha、集荷実績 7,805袋）

●地産地消・都市農村交流の促進による三次産農畜産物のファンづくり

- ・学校給食新調理場建設に係る行政との意見交換会（6回）

【営農指導体制の充実強化】

●生産から販売まで一貫した提案型営農指導の展開

- ・類型別経営モデルによる経営規模・環境に応じた作付推進（R2 提案件数 334件、10品目）
- ・広報誌や産直情報誌等を活用した振興作物の提案



アスパラガス現地研修会



米集荷の様子



貸出用定植機による定植作業

(2) 担い手の育成・支援

【新規就農者の育成】

●JAアグリ三次を核とした新規就農者支援の充実

- ・新規就農者研修の実践（研修生 R2 4名／R3.3月末 1名研修終了・独立就農）※R3 3名の研修生受入



JAアグリ三次での査定会

<ul style="list-style-type: none"> ・ 出口対策の充実強化（「のれん分け」による就農地整備 1 件） ● 相談から就農・自立まで一貫したサポート体制の充実強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ あすなろう塾の開催（R2 16 名受講／累計 401 名） 【担い手経営体・中核的担い手の育成】 ● ニーズに対応した相談窓口機能・個別対応機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落法人と J A 役員の意見交換会の実施（R2 34 法人、法人役員等 139 名出席） ・ 農業青色申告会、税務相談会の開催 ● 農業資金ニーズへの対応力強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ メイン強化先訪問（R2 432 回：52 先） ・ 農業資金新規実行（R2 実行額 2 億 5,280 万円） ● 集落法人の経理・決算支援への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 決算相談会の開催 	 <p>あすなろう塾研修会</p>
<p>(3) 農業経営全体のトータルコスト抑制</p> <p>【省力・低コスト栽培技術の確立と普及】</p> ● スマート農業の普及支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水稻省力栽培技術、リモコン式草刈機の紹介・実演 ・ 水稻空中防除「ドローン」農作業受託の試験実施（作業面積 9 件、24.7ha） <p>【生産資材コストの低減】</p> ● 省力・低コスト資材の普及・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土づくり肥料満車直送早期予約（R2 14 件、1,279 フレコン） ・ 土づくり肥料の受託散布の実施（R2 12 件、81 フレコン） 	 <p>ドローンによる空中防除</p>
<p>(4) 農業生産基盤及び農村環境の保全・地域の活性化</p> <p>【耕作放棄地の拡大防止】</p> ● 鳥獣被害防止対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 有害獣被害防止事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 助成金支払件数：R2 163 件（R1 120 件） 助成金支払金額：R2 203 万円（R1 154 万円） ・ 鳥獣駆除従事者への米ぬか無償提供の実施（R2 16 件 3.2t） <p>【行政との連携強化による営農振興】</p> ● 関係機関との一体的な農業振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ 三次市スマート農業推進協議会への参画 ・ 三次市薬用作物等栽培技術研究会への参画（J A アグリ三次での試験栽培の実施 5 品種、5a） ・ 新型コロナウイルス感染拡大に対する農業者向け支援事業 経営継続補助金（申請 64 件）、高収益作物次期作支援交付金（申請 26 件） 	 <p>薬用作物の試験栽培</p>

■ 地域の活性化と豊かなくらしの実現（地域のくらしを支える絆づくり）

主な取り組み実施内容	
<p>(1) 地域に根ざした情報発信力の強化</p> <p>【未来を担う次世代への食農教育の実践】</p> ● 食農教育の実践	

- ・全支店で「ちゃぐりんキッズクラブ」実施（R2 17 地区 延べ参加児童数 766 名）
- ・管内小学校 3 年生へ雑誌「ちゃぐりん」の無償配布（R2 438 冊/月）
- ・ちゃぐりんキッズクラブカレンダーの配布（19 校 2, 496 部）

【次世代層を意識した多様な情報発信】

●「JA 三次広報戦略」に基づく広報活動の展開

- ・広報誌「かがやき」の発行（毎月）
- ・支店だよりの全支店発行（R2 全支店 延べ 97 回発行）
- ・JA グループ広島「支店広報誌コンクール」最優秀賞受賞（布野支店）



ちゃぐりんキッズクラブ

(2) 総合事業を通じたくらしのサポート

【組合員・利用者ニーズに対応した事業展開】

- ・個人貯金の利用拡大（前年比伸び率 4.92%）、公年金振込のシェア拡大（R2 35.2%）
- ・ネットバンク契約者数（R1 816 人⇒R2 1, 288 人）
- ・ネットバンク定期件数（34 件）ATM 専用定期貯金件数（1, 156 件）
- ・JA ネットローンへの取り組み
- ・投資信託等を活用した資産形成の取組強化（iDeCo の普及拡大）
- ・3Q 訪問活動の実施
- ・共済事務ペーパーレス化の推進（R2 長期共済 87.3%、自動車共済 95.9%）
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の利用拡大（月平均利用者 R2 15.4 人）



共済 3Q 訪問活動

(3) 組合員のアクティブ・メンバーシップの確立

【准組合員参画の仕組みづくり】

●幅広い世代を対象とした JA ファンづくり

- ・JA 三次キッズ謎解きオンラインイベント（ゲーム）の開催（総参加者数約 2, 500 名）
- ・准組合員向け情報誌「かがやきの町」の作成（年 2 回配布）

【組合員の声を聴き、声に応える対話の実践】

●組合員訪問活動の強化

- ・広報誌を活用した意見募集（R2. 10 月、R3. 1 月実施）

【教育（共育）文化活動を通じた組織活動の活性化】

●小さな協同づくりの推進

- ・女性組織活動体験発表会への参加（R2 広島県代表）
- ・女性組織活動の育成・支援
- ・JA グループ広島 SDGs プロジェクトへの参加

●組合員加入促進の取り組み（R3. 3 月末 組合員数 18, 207 名）



キッズ謎解きオンラインゲーム



女性部大会・家の光大会・グループ活動交流会

(4) 地域の拠り所となる店舗づくり

【支店を中心とした協同活動の展開】

●地域特性を反映した支店行動計画の策定と実践

- ・全支店での支店行動計画の策定・実践
来店感謝デー等の実施
- ・JA 三次店舗対応・美粧化コンクールの開催



来店感謝デー

■ 自己改革の実践を支える健全な経営基盤の確立（組合員の期待に応えるJAづくり）

主な取り組み実施内容

(1) 収支構造の見直しによる事業利益の確保

【収益力の維持と管理費の削減】

- 営農経済事業の収支改善
 - ・ 支店営農経済店舗の移設による効率化（吉舎支店・三良坂支店）
- 業務効率化によるコスト削減
 - ・ 事務改善の実施によるコスト削減
 - ・ Web会議・研修会の実施

【組織・事業体制の見直し】

- 経済事業の抜本的見直し
 - ・ 配送センター・JAグリーンの利用促進PR
- 事業環境の変化に対応した組織のスリム化
 - ・ 実務担当者配置（2名）による融資業務の集約化

【財務の健全化】

- 内部留保を基本とした自己資本充実
 - ・ 自己資本比率 10.98%、固定比率 215.5%



支店営農経済店舗の移設



Web研修会の様子

(2) 活力あふれる人づくり

【将来を担う人財育成】

- 専門能力向上への取り組み強化
 - ・ 業務必須資格等の取得奨励（証券外務員、営農指導員、共済審査員等）
 - ・ 業務に係るコンクールや大会等の開催による職員のスキルアップ向上

【自己改革を実践する人づくり】

- 自己改革に向けた職員の意識改革
 - ・ 1職員1協同活動（R2 206名実施）
 - ・ JA三次教育文化セミナーの実施



ロールプレイング大会

(3) リスク管理態勢の強化

【コンプライアンス態勢の強化】

- 不祥事未然防止の取り組み強化
 - ・ 連続職場離脱の実施（R2 実施率 100%）
 - ・ 役員コンプライアンス朝礼の実施（R2.8月）

【公認会計士監査に対応した内部統制の強化】

- 内部統制システム基本方針の充実・強化
 - ・ 整備、運用状況の検証（理事会報告）
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン制定
 - ・ ガイドラインに基づく感染対策の徹底



支店窓口の感染防止対策